

情報ビジネス			学科		2年課程					2		年							
科 目 名		デジタルマーケティングⅡA							学期		前		期						
担当教員		早水 由樹		科目区分		専門		授業方法		演習		分類		必修		単位数		1	
学習目的		WEBの基礎知識およびインターネットマーケティングの知識と運用方法を学び、企業の経営戦略と連動したWEBブランディング力を身につける。																	
授業内容		ケーススタディを通じて、企業における新規顧客獲得のためのインターネットマーケティング業務に必要とされる知識と運用方法を学ぶ。																	
学習目標		ネットマーケティングの運用担当者としての実践的な技術習得を目指す。																	
使用テキスト		授業時に配布																	
週数		授業計画																	
1		現代のインターネットマーケティング（google、各種SNS）																	
2		インスタグラムを使ったマーケティング① アカウント考察（ペルソナ、競合優位性、投稿コンセプト、頻度）																	
3		インスタグラムを使ったマーケティング② 機能面を知る（フィード投稿、リール投稿、ストーリーズ、ハイライト）																	
4		画像加工、動画加工アプリ																	
5		canvaを活用した投稿づくり①																	
6		canvaを活用した投稿づくり②																	
7		実践テーマのヒヤリング（顧客理解⑥ 校外学習）の振り返り。情報整理																	
8		顧客理解⑦⑧ インスタ設計 連結授業																	
9		顧客理解⑦⑧ インスタ設計 連結授業																	
10		顧客理解⑨ 連結授業 店舗への提案資料作成																	
11		店舗への提案を経て、実践内容の調整																	
12		顧客理解⑪⑫と連動 インスタ投稿実践																	
13		インサイト考察・まとめの作成																	
14		実践テーマ店への報告 ※校外学習																	
15		最終成果物発表																	
		評価項目/割合				評 価 内 容													
評価基準		1. 課 題		40 %		提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献													
		2. 授業姿勢		30 %		出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言													
		3. テストその他		30 %		最終成果物発表、学習成果総括レポート													
		課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。																	
目標検定・課外授業実施予定・その他		外部関係者との調整により授業内容が変更・前後することがあります																	

科 目 名	オンライン国際協働学習ⅡA							学期	後	期
担当教員	大石和(25コマ) Lyu Edward	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2	
学習目的	①異文化理解②英語コミュニケーション力向上③プレゼンテーション力向上④企画、提案力向上									
授業内容	海外の学生と、共通のテーマで課題解決を実施し、企画案をプレゼンテーションする（英語使用）									
学習目標	国際交流の場で英語で相手の話を理解できる。自分の考えを海外の学生に伝えることができる。海外の学生の異なる視点や考えを知る。									
使用テキスト	授業時に資料を配布									
週数	授業計画									
1	学内 イントロダクション:国際交流準備									
2	With The World 海外生とアイスブレイク、自己紹介、地域の紹介									
3	学内 テーマに基づいたインタビュー項目と質問文作成 ※この期間に相互に試食									
4	学内 テーマに基づいたインタビュー項目と質問文作成 ※この期間に相互に試食									
5	With The World 海外生ヘインタビュー									
6	学内 企業向けに商品提案作成 併行し海外生も商品提案作成（役割分担）									
7	同上									
8	With The World 商品提案①									
9	学内 商品提案①にもとづいたブラッシュアップ 併行し海外生も商品提案作成（役割分担）									
10	同上									
11	With The World 商品提案②									
12	学内 商品提案②にもとづいたブラッシュアップ 併行し海外生も商品提案作成（役割分担）									
13	同上									
14	With The World 企業への最終プレゼンテーション									
15	学習ふりかえり②									
	評価項目/割合			評 価 内 容						
評 価 基 準	1. 課 題 40 %			提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢 30 %			出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他 30 %			最終成果物発表内容、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります									

科 目 名		リサーチメソッドⅠA							学 期		前 期	
担当教員		三宅 可倫(15コマ)斎藤 望(15コマ)		科目区分	専門	授業方法		講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的		アンケート調査を中心としたデータ収集における適切な手続きを学び、地域課題やビジネス課題発見にも役立てていけるリサーチ手法の基本を身につける。										
授業内容		身近な自分事のテーマを題材に、アンケートを実施し、現状を見える化・構造化し、解決策を見出すという、データ活用による課題解決の一連のプロセスを実践する。										
学習目標		目的に合ったアンケートを作成し、適切に実施し、分析結果から提案をつくることができる。										
使用テキスト		授業時に配布										
週数	授業計画							事前・事後の学習				
1	課題解決のためのリサーチとアンケート調査							【事前】				
								【事後】				
2	問いをたてる：取り組むテーマを見つける							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
3	ディベートでテーマを自分事にする							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
4	仮説づくり：課題にかかわる要素の関連をイメージする							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
5	調査デザイン：対象者設定、スケジュール、予算確認、調査倫理確認							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
6	質問項目の作成							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
7	質問文と回答選択肢、回答欄の作成①							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
8	質問紙のレイアウト、個人情報取り扱いの考え方、調査依頼							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
9	アンケート実施と単純集計							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
10	クロス集計とテキストマイニング基礎							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
11	集計結果の分析①							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
12	提案資料づくり①							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
13	提案資料づくり②							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
14	提案発表とフィードバック							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
								【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
15	学習の振り返り、まとめ							【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく			
								【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する			
		評価項目/割合			評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 40 %			課題・提出物の内容、期限内提出、ブ協働作業時の貢献								
	2. 授業姿勢 30 %			出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無								
	3. テストその他 30 %			テスト、学習成果総括レポート								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります											

科 目 名		リサーチメソッドⅠB							学 期		後 期		
担当教員		斎藤 望		科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数		2	
学習目的		マーケティングに必要な定量分析の基本として、数値の扱いや統計の基本的な考え方を理解する。売上管理データを素材に、エクセルを使用したデータ分析・グラフ作成力を身につける。											
授業内容		実際の企業の売上データを扱い、各種定量分析の考え方と技法を学習する。成果物として、分析結果をふまえた販売促進案を企業へ提案する。											
学習目標		マーケティングの目的に合った数量データの収集ができる。クロス集計や相関分析、回帰分析など統計の考え方を理解した上でデータ分析を実践できる。分析結果はグラフや表を用いて可視化できる。分析結果をふまえた提案ができる。											
使用テキスト		授業時に新聞を配布											
週数		授業計画							事前・事後の学習				
1		数字で捉える「差」や「変化」							【事前】				
									【事後】				講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。
2		企業課題と定量分析							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
3		データベース作成、データクリーニングの実践①							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
4		データベース作成、データクリーニングの実践②							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
5		売上集計とグラフ作成							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
6		相関分析活用:売上に関連する要素の抽出							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
7		回帰分析活用:売上予測、顧客満足度分析①							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
8		回帰分析活用:売上予測、顧客満足度分析②							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
9		データ分析にもとづく販促提案づくり①							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
10		データ分析にもとづく販促提案づくり②							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
11		提案資料作成①							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
12		提案資料作成②							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
13		提案発表とフィードバック							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
14		フィードバックをうけての修正							【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。			
15		学習の振り返り、まとめ							【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく			
									【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する			
		評価項目/割合		評 価 内 容									
評価基準		1. 課 題 40 %		提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献									
		2. 授業姿勢 30 %		出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無									
		3. テストその他 30 %		テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート									
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他		外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります											

科 目 名		リサーチメソッドⅡA						学期	前	期
担当教員		三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的		意識調査実践：テキストマイニング分析を活用し、人々の意識を可視化する手法を身につける								
授業内容		アンケート調査やWEB上の発信を材料に、人々の生活意識や商品やサービスへの関心を示すテキストデータの収集と分析ツールの扱いを学ぶ。活用事例を学ぶ。								
学習目標		実際のテキストデータを集め、分析し、結果から得られた知見をもとに提案を行うことができる。								
使用テキスト		未定								
週数	授業計画						事前・事後の学習			
1	企業課題に関連した定性調査	【事前】								
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
2	定性調査実践 アンケート設計	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
3	定性調査実践 アンケート設計	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
4	定性調査実践 アンケート作成	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
5	定性調査実践 アンケート作成	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
6	定性調査実践 アンケート作成 予備実施	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
7	定性調査実践 アンケート作成 修正	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
8	定性調査実践 アンケート実施	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
9	定性調査実践 アンケート分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
10	定性調査実践 アンケート分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
11	定性調査実践 アンケート分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
12	定性調査実践 アンケート分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
13	分析レポート作成	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
14	発表とフィードバック	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。							
15	学習のまとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく							
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する							
	評価項目/割合		評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 40 %		提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献							
	2. 授業姿勢 30 %		出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無							
	3. テストその他 30 %		テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります									

科 目 名	就職支援ⅠA							学期	前	期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	働くことの意義と重要性について考える。									
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。									
学習目標	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける。									
使用テキスト	Bit就職ハンドブック									
週数	授業計画									
1	【オリエンテーション】 「何のために働くのか」「社会人としての心構え」「学生と社会人の違い」について(グループワーク)									
2	非認知能力の重要性、学科が目指す非認知能力について (学修到達度自己評価ヒアリングシート)									
3	働くことの責任と意義(グループワーク)									
4	【意識は行動の原点】 仕事の基本となる8つの意識について学ぶ(グループワーク)									
5	会社の仕事の決まりやしくみを理解する(グループワーク)									
6	人間関係とコミュニケーション(グループワーク) 非認知能力の振り返り自己分析①(学修到達度自己評価ヒアリングシート)									
7	ビジネスマナーの基本									
8	ビジネス文書「報告書の書き方」									
9	【礼儀としての身だしなみ】スーツ着こなしセミナー									
10	インターンシップの事前授業									
11	仕事の進め方(5W2H)(PDCA)と報告・連絡・相談									
12	指示の受け方と「報告、連絡、相談」の重要性とポイントを知る。									
13	業界研究、企業研究、インターンシップ先検討									
14	インターンシップに向けての自己分析(エントリーシート作成)									
15	インターンシップに向けての目標設定									
	評価項目/割合			評 価 内 容						
評 価 基 準	1. 課 題 40 %			課題プリント等からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢 30 %			出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出						
	3. テストその他 30 %			確認テスト結果より算出						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他										

科 目 名	就職支援 I B							学期	後 期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る								
2	インターンシップの振り返り								
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	業界・職業研究								
5	企業研究								
6	自己分析講座								
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座								
8	履歴書作成の実践①								
9	履歴書作成の実践②								
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)								
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断								
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について								
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)								
14	面接対策講座								
15	非認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評価基準	1. 課 題 40 %			課題プリント等からの評価をもとに算出					
	2. 授業姿勢 30 %			出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出					
	3. テストその他 30 %			確認テスト結果より算出					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									